

# 01

特集01：活動成果の発信：ベネッセこども基金MeetUp

## 学びに困難を抱える子どもの現状を発信し ともに解決策を考える



MeetUp2021#1  
「院内学級プロジェクト成果報告会」の様子

### ベネッセこども基金 MeetUpとは？

ベネッセこども基金MeetUpでは、子どもを取り巻く社会課題をより多くの方たちに知っていただき、多様な関わりを増やし、解決策について一緒に考えるきっかけとなる場を目指しています。

### 多職種の方たちとの関わりを増やす

子どもを取り巻く社会課題は多様化・複合化してきており、単独の団体だけではそのすべてを解決することは困難です。そのため他分野・多職種の方がお互いに関われる関係性が必要になります。

### 社会課題をマンガでカジュアルに発信！

専門家や実践者ばかりでなく、はじめて子どもの社会課題を知り、関心を持っていただく方を増やすためマンガを取り入れました。カジュアルな方法で子どもたちの学びの現状を知りMeetUpにご参加いただくことで支援者や共感者が増え、課題解決につながることを目指しています。

## ベネッセこども基金MeetUpの3年間の変遷

ベネッセこども基金の設立5周年イベントとして始めたMeetUp。3年間で当財団が取り組む重要テーマを扱ってきました。オンライン化、マンガや参加者交流会など、手法も試行錯誤しながら変遷してきました。

### 2019年度 5周年MeetUp登壇者

- #1 吉藤オリイさん  
「テクノロジーで病気を抱える子どもや障がいのある人の課題に挑戦！」(10月25日)
- #2 石川千明さん  
「子どものネットトラブルの現状と対策」(10月28日)
- #3 武田信彦さん  
「子どもも大人も自分の身は自分で守る！～護身術指導つき～」(11月6日)
- #4 マセソン美季さん  
「インクルーシブな社会の実現に向け、教育現場に期待すること」(11月26日)
- #5 青砥恭さん、李炯植さん、木村治生さん  
「経済的困難を抱える子どもを支援する団体の現状と調査の結果から見える子ども支援の現状」(12月10日)

## 2019

### 社会課題発信イベントをはじめて開催

ベネッセこども基金の設立5周年で、成果報告会として関係者をお招きし、協力団体とともに対面イベントを開催

## 2020

### コロナ禍でオンライン型のイベントに

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、会場での対面イベントが困難となり、オンラインイベントが中心に



## 2021

### 参加者同士が交流できる場所に

登壇者が一方的に話すだけでなく、イベント後半では参加者同士がテーマごとに分かれて質問や交流ができるように

### 2020年度テーマ

- #1 児童養護施設の子どもの学びの現状 (8月3日)
- #2 外国につながるのある子どもの学びの現状 (12月15日)

### 2021年度テーマ

- #1 院内学級プロジェクト成果報告会(8月19日)
- #2 社会的養護のもとの子どもの現状と課題 (12月6日)
- #3 子どもの権利って何だろう？ 子ども支援の現場から「子どもの権利」を考える会 (3月19日)

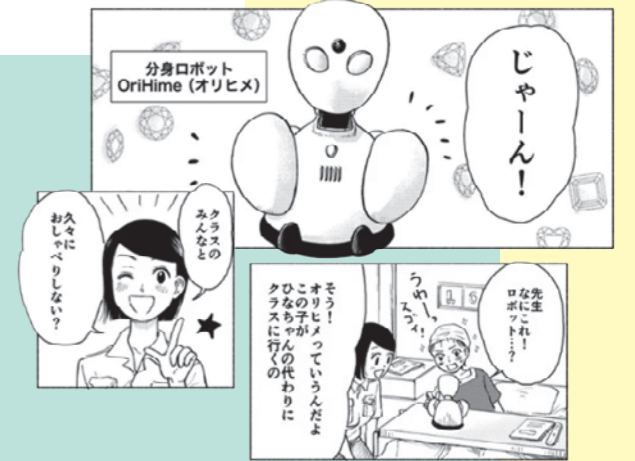
さらに……

### 社会課題×マンガ

専門家や支援に関わる方だけでなく、より多くの方に興味を持っていただくため、社会課題をマンガで知ってもらおう告知をスタート！



「院内学級プロジェクト成果報告会」の社会課題×マンガ  
URL: <https://note.com/kodomokikin/n/n45ad0a6857f0>



## MeetUp #1

### 院内学級プロジェクト成果報告会 (8月19日)

MeetUp #1の様子



#### 登壇者(団体)名

オリイ研究所…吉藤オリイ様、結城明姫様  
東京都立光明学園…田村康二朗統括校長  
東京都墨東特別支援学校…久保田智子先生  
元東京都立小平特別支援学校…田添敦孝先生

参加者数 312名

#### 登壇者メッセージ(久保田智子先生)

具体的な授業の様子や、関係者に聞いた声を紹介しました。東京都以外の関係者からも、病院と学校とをつなぐ学習モデルを実現させたいと、熱心なご質問をいただきました。より多くの地域で病気療養中の子どもに学びが届くよう願っております。



東京都特別支援学校5校との約5年間の実証実験の結果、分身ロボット「OriHime」を活用した病弱教育の新たな学習モデルが認められ、2021年度から東京都にて実導入されたことを報告。学校関係者ととも、入院中の子どもたちの学習保障の問題や、分身ロボット「OriHime」を活用した授業事例などを紹介しました。新しくできた分身ロボットカフェの会場からの配信だったこともあり、未来への希望につながる議論が広がりました。

## MeetUp #3

### 子どもの権利って何だろう？ 子ども支援の現場から「子どもの権利」を考える会 (3月19日)

MeetUp #3の様子



#### 登壇者(団体)名

子どもの権利条約ネットワーク事務局長…林大介氏  
子どもの権利を学ぶ会主催者…宮本聡氏  
認定NPO法人ポケットサポート…三好祐也氏  
NPO法人  
在日ブラジル人を支援する会(サビジャ)…千葉明子氏

参加者数 248名

#### 登壇者メッセージ(千葉明子氏)

MeetUpでは外国にルーツのある子どもの学びの現状や課題について団体の活動事例をもとお話しさせていただきました。様々な職種の方とお会いできましたが、子どもの権利という視点では共通点も多く、領域横断的な学びの機会となりました。



子どもの権利の専門家から「子どもの権利とは何か—大人たちがすべきこと」をテーマに基調講演をいただきました。当財団の助成団体にもご登壇いただき、重い病気や経済的困難の各領域における「子どもの権利」について具体的な事例を紹介していただきました。イベント後は参加者同士や登壇者とフリートークできる時間を設けました。テーマごとに活発な意見交換があり、支援者同士のつながりを増やすことができました。

## MeetUp #2

### 社会的養護のもとの子どもの現状と課題 (12月6日)

MeetUp #2の様子



#### 登壇者(団体)名

児童養護施設子供の家 施設長…早川悟司氏  
NPO法人HUG for ALL 代表理事…村上綾野氏  
NPO法人チャイボラ 代表理事…大山遥氏

参加者数 202名

#### 登壇者メッセージ(大山遥氏)

このMeetUpでは社会的養護の子ども支援について実践者たちとセッションができるなど、アイデアを広げるよい機会となりました。またイベントの参加者の方々から団体への寄附をいただいたり、ボランティアに参加いただいたりと、新たなご縁をいただくことができました。



児童養護施設の施設長より、社会的養護のもとの子どもの現状について、虐待の社会的な背景や市民の役割も含めてお話いただきました。後半は、児童養護施設の支援をしている当財団の助成団体の代表の方々にもご登壇いただき、児童養護施設などで育つ子どもたちの支援に地域や団体としてどう関わればよいか、具体的な事例を交えて議論を深めました。

### 参加者の声

ベネッセ子ども基金MeetUpに参加された方たちからの声も一部ご紹介いたします。

#### Voice 1

MeetUp#1 参加者

美談ばかりでなく、失敗談も含めて事例の数を増やすことや周囲への配慮や理解を広げることが大切だと感じました。先生方の強い情熱に勇気をいただきました。(医療関係者)



#### Voice 2

MeetUp#2 参加者

社会的養護の全体像を知ることができました。児童養護施設も地域に開いてNPOなどの団体とつながっているのですね。よい事例を聞くことができました。(学校教員)



#### Voice 3

MeetUp#3 参加者

子ども支援団体として「子どもの権利」は知っていましたが、具体的な事例をお聞きして、私たちの団体に足りない視点をいただくことができました。(子ども支援団体スタッフ)

